

ごあいさつ ≫ GREETING



さいたま市スポーツ少年団
バスケットボール部会 理事長

岩男 光子

3年ぶりの開催となりました昨年度の大会に引き続き、今年度も「TOMAS CUP 2023第10回さいたまミニバスケットボール大会」を開催できますことを心より嬉しく思っております。

ひとえに、株式会社リソー教育様はじめ、多くの関係各位にご尽力をいただいたからこそ、バスケットボール部会一同、感謝申し上げます。

さいたま市スポーツ少年団には、数多くのスポーツ団体が登録をしておりますが、なかでもサッカー、軟式野球と並んでバスケットボールは、登録数も多く大変人気のあるスポーツです。2023年度は男女合わせて96チーム、登録選手数も2,000名を超えております。スポーツ少年団の大会には、競技力の向上だけでなく、団員相互の交流と、協力しあうことを通じて友情を深めるという目的があります。当部会では、年間を通して、小学生対象の春季・冬季ミニバスケットボール大会、シティカップ招待大会、トーマスカップ、中学生対象の春季・冬季のジュニアリーダー大会を開催し、チームおよび団員の交流を図っております。

TOMAS CUP(トーマスカップ)は、選手数や試合機会の少ないチームでも参加することができる大会です。参加される選手のみならずには、バスケットボールの楽しさや、試合の面白さを感じるのももちろんのことながら、仲間と協力することの大切さを感じ、周囲への感謝の気持ちをもって、交流と友情を深めていただきたいと願っています。

ようやく感染症の影響を感じる事が徐々に少なくなり、スポーツ行事も盛んに開催されるようになって来ました。先だって日本中を熱く歓喜させたFIBAワールドカップでの『暁ジャパン』の活躍は記憶に新しいところです。格上の相手にもひるまず、劣勢でも決して諦めず、自分達と自分達の勝利を信じ、挑み続ける選手の姿に多くの人が熱い声援を送っていたことでしょうか。この大会でも、トッププレイヤーに負けない熱戦が繰り広げられることを期待しています。

最後になりましたが、今大会の開催にあたりご尽力いただきました、株式会社リソー教育グループ様、一般社団法人バスケットボールジャパンアカデミー様、運営に携わる全ての関係者の皆様に感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、さいたまのミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で10回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後の大会ともいえるこのイベントを、このような形で毎年応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、技術の上達や体力の向上だけでなく、チームワークやフェアプレーの精神、スポーツマンシップや相手を尊重する気持ち、勝利の喜びや負けたときの悔しさ、思いやりや友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

今年、沖縄でも一部開催されたバスケットボールのワールドカップでは、男子日本代表が強豪相手に大逆転勝利をおさめたことは皆さんの記憶にも新しいと思います。それによって自力でのパリ五輪出場を決めることができました。日本代表の今後の活躍にも大変な期待が集まっており、バスケットボール界においても、今後ますます日本の選手が世界で活躍していく時代になっていきます。もしかしたらそれは皆さんの将来の姿かもしれません。今日の今の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さん自身がチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。